

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹林産センター 信方浩志郎

収穫

青島温州の収穫は、果実の着色を見て判断していきます。着色が7〜8分以上のものから収穫してください。収穫時は手袋をはめ、果実にキズを付けないように軸を二度切りし、丁寧な作業を心掛けましょう。果実に衝撃を与えないように低い位置で収穫からコンテナへ移しましょう。

予措^{よそ}

「予措」は、直射日光の当たらない風通しの良い倉庫や貯蔵庫などで、1〜2週間程度かけて果実重量を3%程度減少するまで果皮を乾燥させます。収穫後の果実に予措を行うことで、浮皮の進行や腐敗発生を抑える効果が期待できます。

浮皮軽減対策

散布後の降雨は効果を低下させるので、天候を確認してから散布します。

○クレント 100倍（4〜5分着色期）

秋肥

秋肥の施用は、収穫後の樹勢回復や耐寒性を向上させる「礼肥」の働きと、次年度の着果量や発芽量を確保する「元肥」としての働きがあり重要です。地温が12℃以下になると吸収効率が悪くなるため適期に適量を施用してください。

青島温州（11月上旬）

粒状固形248 3袋/10a

又は、柑配6号 4袋/10a

病害虫防除

貯蔵病害を予防するために、収穫前に防除を行いましょう。防除だけでなく果実を丁寧に取扱ひ、予措や貯蔵管理を徹底することが重要です。

○ベフラン液剤25 2000倍（収穫前日〜3回）

○ベンレート水和剤 4000倍（収穫前日〜4回）